

令和5年度寝屋川市国民健康保険料について

1 府統一保険料

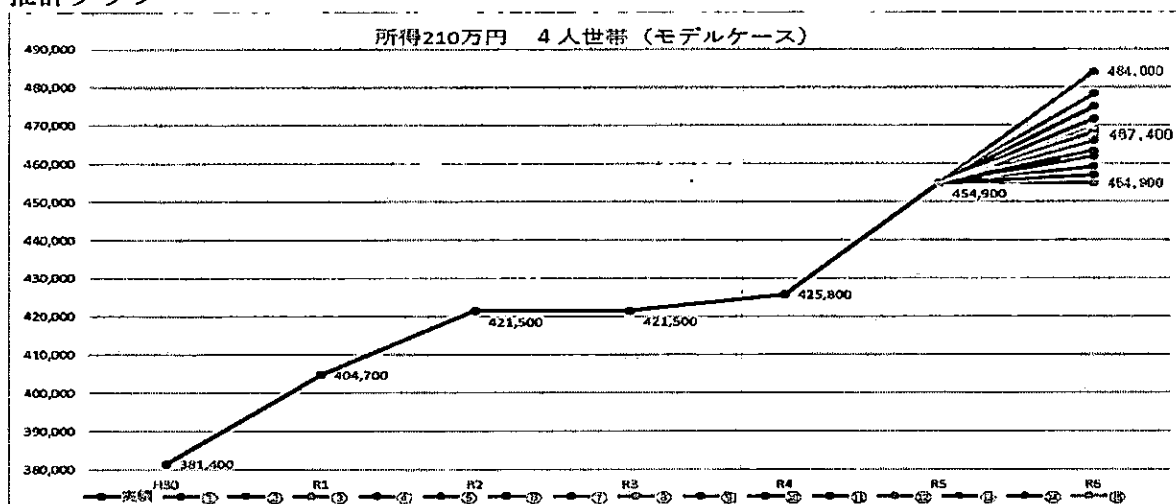
令和5年1月6日付で大阪府統一保険料率の提示がありました。

医療分			後期分			介護分		府統一 保険料(円)
所得割(%)	均等割(円)	平等割(円)	所得割(%)	均等割(円)	平等割(円)	所得割(%)	均等割(円)	
9.18	33,730	33,698	2.97	10,584	10,574	2.61	19,552	454,900

※所得210万円4人世帯(モデルケース)で積算。

2 令和6年度府統一保険料推計

(1) 推計グラフ



【単位：円】

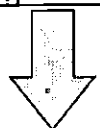
R6の伸びの考え		増加額	R5	R6
①	H30からR1の増加額	23,300	454,900	478,200
②	R1からR2の増加額	16,800	〃	471,700
③	R2からR3の増加額	0	〃	454,900
④	R3からR4の増加額	4,300	〃	459,200
⑤	R4からR5の増加額	29,100	〃	484,000
⑥	H30からR2の2か年平均増加額(①+②)/2	20,050	〃	474,900
⑦	R1からR3の2か年平均増加額(②+③)/2	8,400	〃	463,300
⑧	R2からR4の2か年平均増加額(③+④)/2	2,150	〃	457,000
⑨	R3からR5の2か年平均増加額(④+⑤)/2	16,700	〃	471,600
⑩	H30からR3の3か年平均増加額(①+②+③)/3	13,367	〃	468,200
⑪	R1からR4の3か年平均増加額(②+③+④)/3	7,033	〃	461,900
⑫	R2からR5の3か年平均増加額(③+④+⑤)/3	11,133	〃	466,000
⑬	H30からR4の4か年平均増加額(①+②+③+④)/4	11,100	〃	466,000
⑭	R1からR5の4か年平均増加額(②+③+④+⑤)/4	12,550	〃	467,400
⑮	H30からR5の5か年平均増加額(①+②+③+④+⑤)/5	14,700	〃	469,600

(2) 保険料推計の選択

試算①から⑮の令和6年度の推計保険料平均は467,593円であり、試算⑭で推計した467,400円が妥当と考えられ、当該推計を用いて、以下、試算を行う。

3 試算「⑭」における本市保険料の見込

	R4	R5	R6
本市保険料	408,900	$(467,400 - 408,900) \div 2 = 29,250$ 438,200	467,400
対前年度増加額	20,900	29,300	29,200



令和5年度については、コロナ禍による継続的な経済的影響及び物価高騰を踏まえ、更に基金を活用し、引き下げ

	R4	R5	R6
本市保険料	408,900	420,900	467,400
対前年度増加額	15,900	12,000	46,500

大阪府統一保険料	425,800	454,900	467,400
府からの抑制額	▲ 16,900	▲ 34,000	0

	医療分			後期分			介護分		本市 保険料 (円)
	所得割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)	所得割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)	所得割 (%)	均等割 (円)	
R2	8.24	25,080	17,340	2.78	7,800	5,400	2.53	12,840	370,100
R3	8.53	27,884	21,241	2.72	8,768	6,679	2.52	14,756	393,000
R4	8.75	30,060	24,913	2.66	8,993	7,454	2.50	16,178	408,900
R5	8.67	30,791	27,849	2.81	9,804	8,867	2.57	17,003	420,900
R6	9.44	34,812	34,331	3.06	10,915	10,764	2.66	19,932	467,400

4 財政収支等の推計

(財政収支)	実績 ← → 見込み						(単位：千円)
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
歳入	26,773,693	25,986,196	26,903,145	26,321,121	25,164,017	25,026,860	
歳出	26,343,360	25,372,097	26,431,930	26,066,823	24,947,589	24,852,177	
収支	+430,333	+614,099	+471,215	+254,298	+216,428	+174,683	

(被保険者数等)	実績 ← → 見込み					
	R1	R2	R3	R4	R5	R6
被保険者数	53,536人	52,239人	51,181人	49,270人	46,123人	45,099人
世帯数	34,310世帯	33,904世帯	33,665世帯	32,011世帯	30,598世帯	30,310世帯
収納率	89.67%	91.02%	91.30%	91.37%	91.90%	91.97%
一人当たり給付費	342,463円	332,884円	353,171円	359,943円	361,668円	367,540円

- 被保険者数、世帯数、一人当たり給付費については平成30年度から令和3年度実績の逓減率から推計(令和4年度及び5年度の被保険者数及び世帯数については、大阪府提示数値)。
- 収納率については、令和3年度までは実績、令和5年度以降は大阪府が提示する本市の標準収納率(令和6年度は予定)。

	(基金残高)		(単位：千円)		(単位：円)			
	取崩		積立 (前年度 剰余金)	残高	府統一 保険料	市保険料	本市との 比較	
	保険料緩和	償還金等						
H30年度	310,000	392,893	898,985	1,326,632	381,400	370,100	▲ 11,300	実績 ↑ ↓
R1年度	630,000	14,844	544,340	1,226,128	404,700	370,100	▲ 34,600	
R2年度	890,000	67,405	430,941	699,664	421,500	370,100	▲ 51,400	
R3年度	630,000	25,546	614,118	658,236	421,500	393,000	▲ 28,500	
R4年度	390,000	22,851	471,215	716,600	425,800	408,900	▲ 16,900	
R5年度	550,000	165,547	254,298	255,351	454,900	420,900	▲ 34,000	予定
R6年度	0	165,000	216,428	306,779	467,400	467,400	0	見込

5 保険料算定に係る変更点

(1) 総賦課額における応益割と応能割及び均等割と平等割の比率

ア 令和6年度統一基準の応益割と応能割を「1：0.8」と想定し、令和3年度以降、毎年「0.05」ポイントずつ近づける。

イ 令和6年度統一基準の均等割と平等割になるよう、令和3年度以降、毎年「2.5」ポイントずつ近づける。

令和4年度 寝屋川市			令和5年度 寝屋川市			令和6年度 府内統一		
応益割	[52.6]		応益割	[54.1]		応益割	[54]	
応能割	[47.4]		応能割	[45.9]		応能割	[46]	
1 : 0.90			1 : 0.85			1 : 0.837~0.868		
均等割	平等割	所得割	均等割	平等割	所得割	均等割	平等割	所得割
[34.2]	[18.4]	[47.4]	[33.8]	[20.3]	[45.9]	[32]	[22]	[46]
65.0 : 35.0			62.5 : 37.5			60 : 40		

(2) 賦課限度額の引き上げ

大阪府は、国が規定する保険料賦課限度額を1年遅れで設定しており、令和6年度は、107万円と想定し、かつ、本市が令和元年度に据え置いている4万円を令和2年度からの4年間で1万円ずつ加算する。

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
国	96 (3)	99 (3)	99 (-)	102 (3)	104 (2)	107 (3)
府	93 (4)	96 (3)	99 (3)	99 (-)	102 (3)	104 (2)
市	89 (-)	93 (3+1)	97 (3+1)	98 (1)	102 (3+1)	104 (2)

※括弧内は、前年度比の増加額（単位：万円）